

平井尚志の なめとこ山通信



第65回

X年前の世界と私たち？

皆さんこんにちは。オリンピック、パラリンピックの余韻は薄れましたが、ウィズコロナの日常は続いていく、という今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。私も、まだまだ不要不急の外出は控え、飲みに行くことも遊びに行くこともない毎日です。そういう訳で、今回の「なめとこ山通信」も、特に新しくお知らせすることもネタもないのですが、前回「X年後」を話題にしたので、今回は「X年前」で書いてみよう！と、我ながら上手いことを思いつきました。あいかわらず煙に巻くような話をしますが、お時間ありましたらお付き合いください。

1年前の9月27日、冒険学校の「オンライン冒険広場」がありました。1年前もオンラインでしたね。私は娘と、ダンスの出し物をしました。少しは練習をしたのですが、相変わらずへなちょこでした。きっちり練習していた娘に、それじゃダメって叱られていたんです。今年は、娘と一緒に踊ることはありませんでした。中2になった娘からは、さすがに恥ずかしいと言われてしまいました。そう考えると、一緒にダンスをすることなんて、1年前のあれが最後になるのかなあという思いです。1年前の夏の会報も、娘と一緒に原稿書きをしていたのでした。今年は、何があったというわけではありませんが、娘は塾に行くようになって、形だけでも勉強を頑張っています。子どもの手が離れていくのは、寂しいことではありますが、そういうものなのでしょうね。

2年前の9月。もちろん私たちは、コロナウイルスのこの字も知りませんでした。6日・7日の「ふれあいコンサート」は、山梨県の「ゆずりはら青少年自然の里」で行われました。（すでに懐かしい、ゆずりはら！あの時も私は、娘とダンスをして彼女の足を引っばっていました。）この年の9月は、日本でラグビーのワールドカップが始まりました。覚えていますか。9月28日には、日本は優勝候補のアイルランドに勝って、大いに盛り上がっていたのでした。日本ラグビーの勇姿は覚えています、この大会で優勝したのは、え〜とお、……。 (南アフリカでした。)

5年前の2016年は、リオデジャネイロで、8月にオリンピック、9月にパラリンピックが行われました。選手の皆さんは頑張ったと思いますが、記録的にはパラリンピックでは、金メダルは0、メダル合計24だったんです。それが、今年の東京パラリンピック大会では、金メダル13、メダル合計51にもなったんです。凄いですね。もちろん、メダルに届かなかった選手の頑

張りも、私たちは間近に見ることができました。何かと話題になった今年の東京大会でしたが、色々なことを学ぶことができたようにも思いました。

10年前の2011年、3月11日。日本は、東日本大震災という未曾有の大震災に見舞われました。もちろん過去にも大震災は度々日本を襲っています。しかし今回の東日本大震災が特殊だったのは、震災によって福島原発事故も引き起こされたということでした。そのために、10年経過した今でも、帰還困難区域というところがあります。2020東京オリンピック大会は、復興五輪という名目もあったかと思いますが、被災地からは「復興はまだまだ先」という声があがったようです。コロナ禍のために無観客で各競技が行われたことにもよるのですが、オリンピック期間中に、福島の被災地の現状を世界に発信する機会も手段も乏しく、復興五輪とするにはどこか違うという印象がぬぐえませんでした。

10年前の冒険学校の会報を、読み返してみました。6月の会報で私は、「前を向いて」と題して震災のことを書きました。そこに、インターネットで見つけたとして被災者の方の声を載せました。「ここを復興だなんて微塵も思えない」「そっちもみんな不幸になってくれたら」と言うその言葉を読み返して、この方は今、どうしているだろうかと思いやりました。事情は異なりますが、日本は今また、コロナのせいで、たいへん閉塞した状況に飲み込まれています。菅首相が「明かりは見え始めている」と会見で言ったときに、皆で「どこにだよ！」と突っ込みたくなかったのはついこの間のことですが、それでも、みんなと一緒に不幸になるのではなく、みんなで幸せになれる明日が来ますようにと、今も前を向いていたいと思っています。

20年前の2001年、9月11日、アメリカで、同時多発テロ事件が起きました。あの日の夜、私はいつものようにテレビ朝日のニュースステーションを見ていました。あの日、キャスターの久米宏さんはお休みで、進行は渡辺真理さんだったのを覚えています。ニューヨークの世界貿易センタービルに飛行機が激突したらしいというニュース速報が入って、映像が映し出されました。事故なのか事件なのかと見てみると、隣のビルにも飛行機が突っ込むのですが、それがライブ中継なのか最初の衝突を流したもののなのか、私たちにはよく分かりませんでした。そして暫くして、アメリカは攻撃されているのだと、皆が気付いたのでした。思えばあの日から、世界は二分されてしまったかに思えました。ブッシュ大統領が、全ての国は「我々の側なのか、テロリストか」どちらに着くかを決めなければならないと言ったのです。そうして始まったアフガニスタン紛争が、20年経った今年ようやく、アメリカ軍のアフガニスタンからの撤収という形で終わるのですが、対立は解消されておらず、平和は訪れていません。911とは何だったのか。あの日が境ではなく、あの日よりもずっと前から、アメリカへの憎悪があって、テロリスト達は準備をしていたわけです。今年、米軍撤収中のカブール空港で、自爆テロがあって米兵が死傷したのを受け、バイデン大統領は「事件を起こしたものを許さず、忘れない。探し出して代償を払わせる」と会見で述べました。そして実際にドローンによる空爆を行うのですが、先日アメリカ政府は、「8月29日に子ども7人を含む10人の民間人を殺害したのは、誤爆だった」と発表したのです。誤爆って。今度はアフガニスタン人遺族の方が、「事件を起こしたものを許さず、忘れない」と思うのは当たり前です。こうして、憎悪の連鎖は続くのです。

2001年より前は、確かにもう少し、自由に世界を旅していられたように思います。それが911があって、そして今はコロナがあって、本当に自由に世界を旅することができなくなってしまいました。けれどそれを嘆いてばかりいるのではなく、若い人が夢を抱いて、自由に世界を旅することができるようになる日がまた、来ればいいなと思っています。

50年前の1971年、私はまだ4歳。NHKが全番組カラー化を実施し、民放では「仮面ライダー」の放映が始まったようですが、そんなことはもちろん、私は覚えてはいません。この年の9月から発売されたのが、日清のカップヌードルです。それで今年、カップヌードル誕生50周年の年なのですが、50周年で検索すると、1971年、日本マクドナルドも1号店が銀座でオープンしています。それから、ビートルズの最後のアルバム「LET IT BE」の50周年記念盤が、今年の10月に発売になります（欲しい！ ちなみに、ビートルズが解散したのは前年の1970年です。）テレビアニメでは「天才バカボン」や「ルパン三世」が始まった年でした。カップヌードル、マック、バカボン、仮面ライダー、ビートルズと



50周年カップ

並べると、なんだか夢のような年ではないですか（そう思うのは、私だけ？）。ちなみにこの翌年の1972年は、浅間山荘事件、沖縄返還、パンダ来日、札幌オリンピックと、これまた色々あって、激動の昭和って感じがします。私が言うのも何ですが、わちゃわちゃしていたけれど、夢も勢いもあったと言いますか、そんな感じに思えませんか。でも、年を経て落ち着いたときに思い返すからそうなのであって、平成から令和の時代も、コロナ禍の今も、あと数十年して振り返れば、あんなこともあったよねと思い返せる時が、来るのでしょうか。たぶん。



芥川龍之介

100年前の1921年は、大正10年です。その頃は、大正デモクラシーと呼ばれた自由主義・民主主義的な風潮の時代で、1925年になって、普通選挙法が成立しています。（普通と言っても、満25歳以上の男子にだけ選挙権が与えられたものでしたが。）文学では、白樺派の志賀直哉や有島武郎、武者小路実篤、新思潮派の芥川龍之介などが、競って作品を発表していました。マンガの「はいからさんが通る」は、ちょうどこの大正デモクラシーの時代を1923年の関東大震災の頃まで描いた作品になっていますから、大正時代のイメージとして「はいからさん」を頭に描いてもらえればいいかと思われます。1921年、浅草に神谷ビルが建てられ、神谷パーでは電気ブランが売られていました。関東大震災でも残ったこの神谷ビルは、浅草で最古の鉄筋コンクリート建造物として、2011年に国の登録有形文化財に指定されています。

200年前の1821年は、文政4年の江戸時代です。その翌々年の1823年に、ドイツ人シーボルトがオランダ商館員として来日します。文政の前の元号、文化とあわせて、文化文政の時代には、町人文化である化政文化が花開きました。十返舎一九が「東海道中膝栗毛」を書き、曲

亭馬琴が「南総里見八犬伝」を執筆したのがこの頃です。俳諧では小林一茶、錦絵では葛飾北斎など、江戸を代表する文化人が活躍したのがこの、化政時代でした。

海外では、1821年9月に、メキシコがスペインから独立しています。1820年代は、中南米のスペイン・ポルトガルの植民地が、相次いで独立した時期でした。ベートーヴェンの交響曲第9番が初演されたのが、1824年だそうです。

500年前の1521年、日本は室町時代の末期で、1467年の応仁の乱以降は、特に戦国時代と呼ばれる乱世です。ただ、戦国武将の織田信長、豊臣秀吉、徳川家康ともに、1521年にはまだ生まれてはいません。信長は1534年に、家康は1542年に誕生しました。誰もが天下を取るチャンスがあり、武将の誰もが天下を目指していた、日本史上希有の乱世がこの時代でした。海外では、スペインのコルテスがメキシコに栄えたアステカ王国を滅ぼし、ポルトガルの探検家マゼランが死去したのが1521年でした。

1000年前の1021年は、平安時代の中期です。1016年に藤原道長が摂政となりました。道長は、4人の娘を天皇や皇太子の妻として送り込み、栄華を極めた人物とされています。1018年、



藤原道長

三女の威子の立後の日の宴会で、「この世をば わが世とぞ思ふ 望月の かけたることも なしと思へば」の歌を詠んでいます。道長の長女、彰子は一条天皇の中宮ですが、その彰子に仕えていた女房が紫式部でした。基本的には身の周りのお世話をしていた女房ですが、紫式部は彰子の家庭教師のような役割もしていたようです。そして、その紫式部が「源氏物語」を執筆するわけです。この世界最古の長編小説とも言われる「源氏物語」は、だいたい1008年頃には完成していたようです。(それを受けて2008年に、

源氏物語千年紀の催しが行われました。)

海外に目を向けると、この頃の中国は宋の時代です。それから、1096年に第1回十字軍が派遣されます。って、十字軍って何をしたんでしたっけ。(十字軍とは、西欧カトリック諸国が、聖地エルサレムをイスラム教諸国から奪還することを目的に派遣された遠征軍です。今日の、エルサレムを巡るイスラエルとパレスチナの紛争のそもそものは、今から1000年前、2000年前にあると言えます。)

2000年前の日本は弥生時代で、日本人は水稲農耕を主として生活していました。中国では漢の時代、地中海にはローマ帝国がありました。イエス・キリストは紀元前4年頃に生まれたとされています。えっ、西暦元年がイエスの生年ではないんですね。イエスは、ベツレヘムで生誕し、30年頃にエルサレムのゴルゴダの丘で磔刑に処されたと言われています。

3000年くらい前。ナイル川流域にはエジプト文明が、チグリス・ユーフラテス川流域にはメソポタミア文明があったとされます。

15000年くらい前。日本では縄文時代が始まったと考えられています。縄文時代がいつ頃からいつ頃までなのかというのは、まあ諸説あるのだと思いますが、大雑把にこの頃からなんです。たぶん。そして、1万年以上も続くのです。100年前はいからさんで、200年前は葛飾北斎とかいう変化も何もなく、ず〜っと、縄文時代です。

3万年前頃、ネアンデルタール人が絶滅したとされています。私たち、ホモ・サピエンスの隣人であった、ホモ・ネアンデルターレンシス。彼らがなぜいなくなってしまったのかを考えると、ホモ属最後の種である私たち、ホモ・サピエンス（賢い人）の、生き残りへの術なのではないでしょうか。

今から20万年前、東アフリカでホモ・サピエンスが進化しました。

そして7万年前、そのホモ・サピエンスに認知革命が起こったと、「サピエンス全史」の著者ユヴァル・ノア・ハラリ氏は言っています。認知革命というのは、他人も同じものを認識しているという認識を持つことによって、虚構を共有する能力を身に付けたとされる、人類進化史上の大革命です。認知革命によって共通の虚構を有するようになった人類は、音楽や踊りで何かを伝え、死者を埋葬し、集団で通じる言語を使うようになりました。人類文明の進展の根幹にある、宗教もイデオロギーも、基本的には形のない虚構です。人は、誰かと一緒に何かを信じていることができたから、進化したと言えるのです。その始まりが、7万年前くらい前であったということです。

そこで言ってみれば、冒険学校も虚構です。形はないけれど、その存在をみんなが信じて認識して、集まって、未来を想像して何か新しいものを作ろうとしています。人類の進化を7万年遡って、振り出しに戻って今、7万年前と同じことを始めているというわけです。そしてその、一緒に同じことを思いやるということが、人類がず〜っとず〜々としてきたこと、なのでした。それを止めてしまったら、人類の歴史も終わってしまうのでしょうか。